

# 複々線化事業とその効果について

## 1 複々線化事業の概要

当社では、輸送需要に対応するため、列車の増発や長編成化をはじめとする輸送力の増強に努めてまいりました。こうした輸送力増強策によって混雑率は若干緩和されたものの、従来の複線設備では輸送力に限界があるため、朝のラッシュピーク時間帯においては、過密ダイヤによる所要時間の

の増大や、混雑率が200%を超えるといった弊害を抱えたままとなっていました。

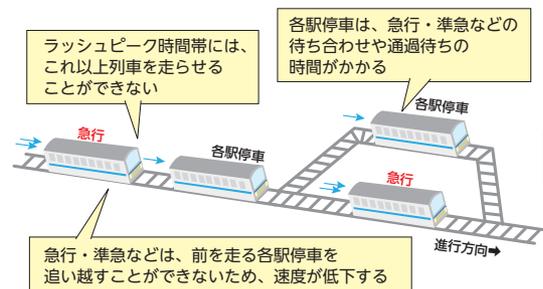
このような現状を抜本的に改善し、快適な輸送サービスを実現するため、上下線を各2本ずつ計4本の線路にする『複々線化事業』を東北沢～和泉多摩川間(10.4km)で実施しています。

### 複々線化事業区間

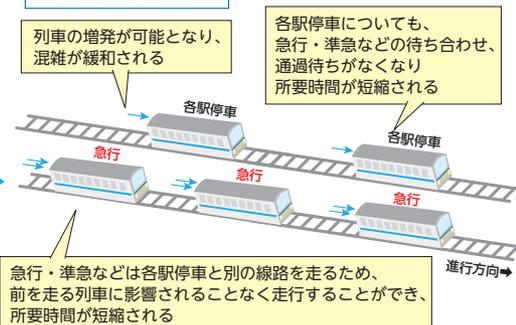


### 複線と複々線の比較

#### 複線の場合



#### 複々線の場合



## 2 複々線化事業の効果

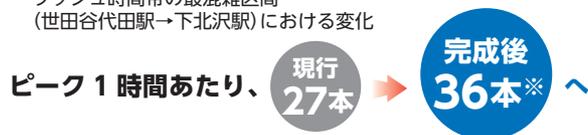
複々線完成により、朝のラッシュピーク時間帯に列車の増発が可能となり、混雑が緩和されるほか、各駅停車と急行などの優等列車が別々の線路を走ることにより、所要時間が短縮されます。

### 複々線完成によるラッシュピーク時間帯における輸送改善『3本の柱』

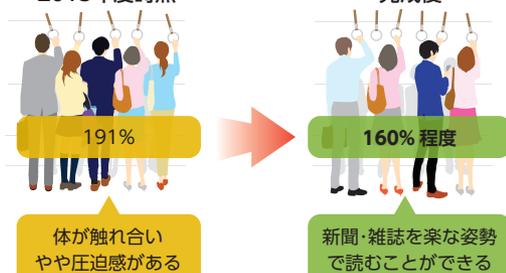
- 混雑緩和による快適な輸送環境の提供
- 所要時間短縮による都心方面へのアクセス向上
- 千代田線直通列車増発による都心中心部への利便性拡大

#### ● 列車増発による混雑緩和

ラッシュ時間帯の最混雑区間  
(世田谷代田駅→下北沢駅)における変化



混雑緩和のイメージ(混雑率)  
2015年度時点



※複々線完成後の運行本数は目安であり、今後変更となる場合があります

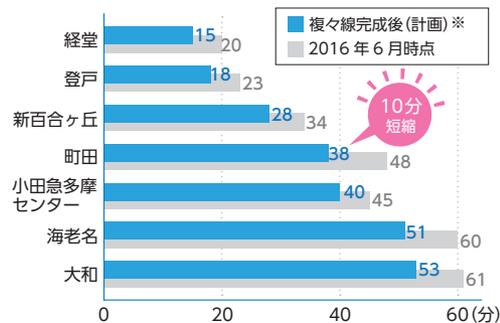
#### ● 千代田線直通列車を増発



※新宿方面へは、現行22本→完成後24本  
複々線完成後の運行本数は目安であり、今後変更となる場合があります

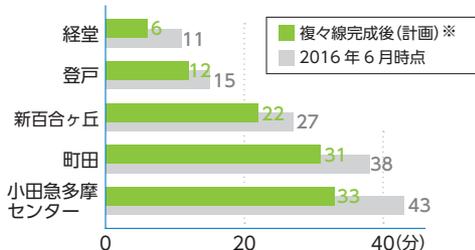
#### ● 主な駅から新宿までの所要時間の変化

平日の8:30頃新宿に到着する列車



#### ● 主な駅から代々木上原までの所要時間の変化

平日の8:10頃代々木上原に到着(→8:30頃大手町に到着)する列車



※複々線完成後の所要時間は目安であり、今後変更となる場合があります

## 3 複々線完成による増収効果

第100期、当社鉄道事業における旅客運輸収入において

**50億円程度増収**

を目指します

(第95期比較)